児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和7年 2月 12日

事業所名： フェローKIDS

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			座席の配置を児童数や車椅子児童の数などに応じて柔軟に工夫をしている。	14	3	1	2	感覚過敏な子達にとっては、狭すぎるスペースだと思います。子ども同士の間隔感が近いと感じる時がある学習に集中したい。密なような気がする。	机や椅子、設置物の配置を見直したり、児童同士の相性を踏まえた席配置を行う。
	2 職員の適切な配置	○				18	1	0	1	詳しい先生がいて頼りになります。規定の人数は配置されているのだと思う。専門性は信頼している。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○			車椅子利用児童が複数人同日だとどうしても部屋が狭くなり移動がしにくくなるため配置などは改善できるかもしれない。□ 車椅子の導線の工夫。 毎日清掃をすることで清潔な空間での活動をしてもらっていること。 児童を巻き込んだ環境整備。	17	2	0	1		
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○				18	1	0	1		
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			申し送りを徹底していく。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	○			第三者委員会の設置による業務改善をしていく。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			研修・勉強会を定期的に行っている。						
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			保護者の希望と児童の希望が噛み合うように支援している。計画作成の進捗確認を行なっている。	20	0	0	0	とても丁寧な聞き取りをしていただき、我が子に合った計画を作成してくださいました。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			児童の希望や特性に理解を示しやりたいことができるよう支援している。支援計画のチェックを行なっている。	20	0	0	0		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
児童 3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○				/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	4	○			児童がやる気を出せるようにこちらからアクションをおこしていく必要がある。	19	1	0	0		
	5	○			申し送りを徹底していく。						
	6	○			児童やご家庭からの要望で新たな活動を企画・実行することがあります。イベントを実施している。	19	1	0	0	子どもをしっかり観察し、能力を伸ばして下さっています。	
	7	○									
	8	○			申し送りを徹底していく。						
	9	○			日報のチェックを行う。						
	10	○			日報のチェックを行う。						
	11	○									
関係機関との連携	1	○			ケース会議への参加をしている。						
	2				(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		○		ケース会議への参加をしている。	/	/	/	/	/	
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供		○		ケース会議への参加をしている。	/	/	/	/	/	
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進		○		関係機関とのコミュニケーションの徹底を行う。	/	/	/	/	/	
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供		○		各所と連携してイベントを企画していく。	3	4	3	10	スタッフさんの子供さんが、いらっしゃる時もあるようですが、活動する機会はないと思う。	事業所内での活動がメインとなっているため、スタッフの子どもたちと関わる機会や、外部とのイベントを企画していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	○			スマイルプロジェクトin秋祭りを行なっている。	/	/	/	/	/	
保護者への説明責任	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○				19	1	0	0		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○				19	0	1	0		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
連携支援	3		○		保護者様とのコミュニケーションをより密にしていく。	10	5	0	5		保護者勉強会を企画し、ペアレント・トレーニングの機会を設けていく。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	○			日々の連絡帳などで課題の進捗や児童の状態などを随時記載している。	19	1	0	0		
	5	○			必要に応じて保護者様との面談を行なっている。	19	1	0	0		
	6		○		保護者勉強会などのイベントを実施していく。	2	6	4	8		保護者勉強会を企画し、ペアレント・トレーニングの機会を設けていく。
	7	○			すぐに折り返しの電話やメールで連絡し対応している。迅速な回答を行なっていく。	16	0	0	4		
	8		○			18	1	0	1		
	9		○		KIDS通信を実施していく。	15	2	0	3		KIDS通信を定期的実施していく。
	10	○			書類やデータの管理を徹底する。	19	0	0	1		
非常時等	1	○			定期的にマニュアルを確認し、非常時に対応できるようにする。勉強会を実施する。	12	2	0	6		スタッフ間で勉強会を行う。